

維新 自公の悪政 右からけん引 弱肉強食 新自由主義推進

昨年の総選挙で議席を増やした日本維新の会。毎日のようにテレビに映る吉村洋文大阪府知事（同党副代表）に期待する人も少なくありません。しかし、実態はどうなのでしょう。



維新の会（上から時計回りに）馬場伸幸共同代表、吉村洋文副代表・大阪府知事、藤田文武幹事長、松井一郎代表・大阪市長

雇用の流動化

維新の会の政策「維新八策2021」。「雇用の流動化」を主張しています。これは労働法制の規制緩和路線——非正規雇用の拡大など格差拡大の原因です。維新はそれをさらに進め、自公政権でも実現できなかった「解雇紛争の金銭解決を可能にする」ことを盛り込んでいます。「雇用紛争の金銭解決」——不当

カネ払えば解雇も自由

であっても「カネさえ払えば首切り解雇も自由」です。

今国会でも藤田文武幹事長が「(労働者) 派遣法改正で悪い影響ばかり出ているというのは明らかに間違い」と述べ、解雇規制の緩和を求めました。弱肉強食の野蛮な新自由主義に拍車をかけるものです。

折り目

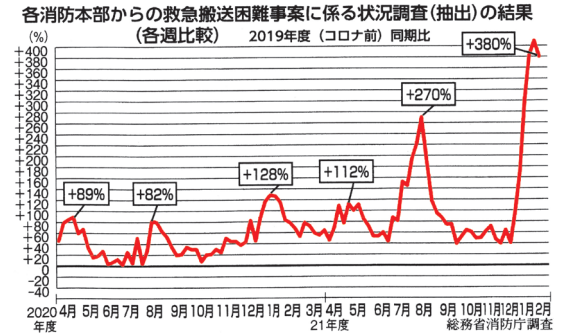
コロナ対応 危機的状況を発信し 対策の全体像を示せ



志位委員長が会見

ピークアウトというが

共産党の志位和夫委員長は17日、国会内で記者会見（写真）し、感染者数が「ピークアウト」と報じられている一方、新型コロナウイルス感染症による死亡者や救急搬送困難事案などのデータをもとに、深刻な事態が続いていることを指摘。①現在の危機的状況が国民に正しく認識されるよう国として強く発信すること②昨年11月公表の「取組の全体像」の見直しを含む全般的な対応方針を明確にすること——を強く求めました。



オミクロン前の対策ではダメ

死亡者数は最悪を更新するなど、事態はコロナ危機が始まって以来最も深刻。救急搬送困難事案（グラフ）は直近でもコロナ前の5倍が続くなど依然として非常に深刻な状態です。志位氏は「危機的状況が国民に認識されるようなメッセージ」を出すよう強く求めました。

志位氏は、「検査、ワクチン、医療をどうするか——その全体像をオミクロン前のものでやっている。これではダメだ」と強調。全般的な対応方針を明確にするよう求めました。

2022年参院選の予定候補

<p>〔比例代表〕</p> <p>大門みきし</p> <p>参院議員4期</p>	<p>〔選挙区〕</p> <p>大阪 たつみ</p> <p>前参院議員</p>	<p>兵庫 こむら潤</p> <p>党県政委員長</p>	<p>京都 たけやま</p> <p>党府女性部長</p>	<p>奈良 北野いづ子</p> <p>前大和郡山市議</p>
-------------------------------------------------	------------------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------

制度解説 参院選挙投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます

選挙区は「候補者の名前」で

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます